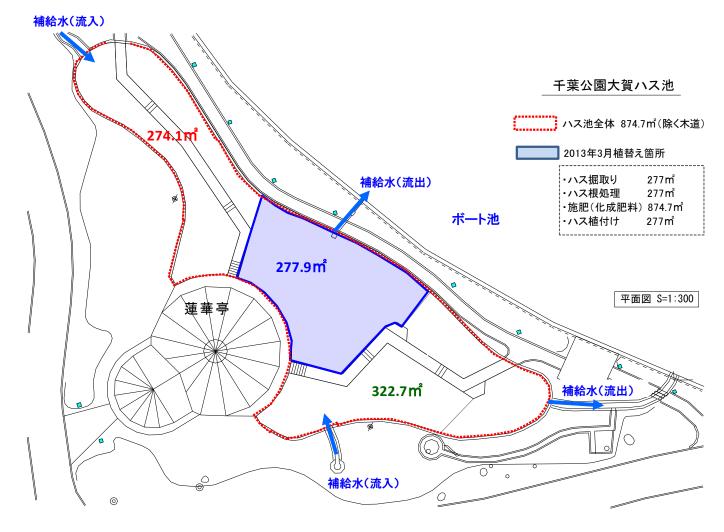
千葉公園の大賀ハス栽培について

1 ハス池の概要

- (1)完成年 1993年3月
- (2)整備費 約9,000万円(木道含む)
- (3) 面 積 約900 m² (木道除く栽培面積874 m²)
- (4) 植付け 植マス (φ1.8m) 106 個に 318 株を植え付け (同年 4/29) その後、植マスを撤去し池底の混合土に直接、栽培している。
- (5) 栽培土 混合土/厚さ 0.4m (荒木田土:山砂:腐葉土=4:1:0.02)
- (6) 水 深 0.2m (防水シートあり)
- (7)補給水 池の濾過水をハス池の南北から給水 (35 m³/日) 濾過装置休止時は、井水を給水



2 栽培方法

(1) 植え替え

ア 植え替えの頻度

・ハス池を3等分し、3年で全体が植え替えできるローテーションで実施。

イ 植え替え時期

・3月上旬から中旬、浮葉の芽が伸びすぎない時期に実施。

ウ 植え替え作業

- ・ハス栽培に実績ある業者への業務委託により植え替え作業を実施している。
- ①ハス池の水抜き後、枯れた茎葉を除去する。
- ②スコップ・クワ等の手作業で蓮根を掘り上げる(深さ 40cm)。
- ③植え替えに適する良好な種蓮根を選抜する。
- ・腐敗病に侵されていないもの、頂芽・側芽・浮葉の芽が健全なものを選抜。
- ④種蓮根を殺菌剤(ベンレート1000倍液)に浸して消毒する。
- ⑤代搔きを行い、植え付け面を平らに均す。
- ⑥スコップ等で植え穴を掘り、蓮根が完全に隠れるよう埋め戻す。
- ⑦植え付け後、元肥えを散布する(施肥量は「(3)肥料設計」を参照)





レンコンの選抜

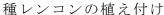


レンコンの掘り取り



殺菌消毒







肥料 (元肥え) 散布

(2)年間の栽培管理

・技能職員1人、技術職員1人の2人が主に担当

①4月~6月の管理

・4月:アオミドロ・カナダモ等の除去、浮葉の出現・展開状況の観察

・5月:アオミドロの除去、立葉の観察、アブラムシ等害虫防除、花蕾の観察

・6月:アブラムシ等害虫防除、花蕾の観察、開花数の調査、果托の除去

②7月~9月の管理

・7月:花蕾の観察、開花数の調査、果托の除去、水管理

・8月:立葉の生育状況観察、果托の除去、水管理

・9月:立葉の生育状況観察、果托の除去、水管理

③10月~12月の管理

・10月:立葉の生育状況観察、水管理

・11~12月:水抜き、茎葉の刈り取り

④1月~3月の管理

・1~2月:水管理(凍結防止のため常時水張り)

・3月:蓮根の植替え+元肥え(業者委託)、水管理

(3)肥料設計

①元肥え

・従来3月、林業用化成肥料(ちから3号:NPK=3:6:4)、1 m²当り195g 施用

・25年3月、ハス専用肥料 (アミノリン: NPKMg=6:9:7:1)、1 ㎡当り 160g 施用 ※ハス栽培に必要な年間施肥量 25g/㎡の 40%を元肥えとする設計

②追肥(5~8月)

- ・5~8月、施用せず(補給水に窒素 1.4mg/1+リン 0.12mg/1 を含むため)
- ・ハス池中央部の生育がやや不良のため、今後、対比区を設けて追肥する予定 葉の生育期 $5^{\sim}6$ 月に 2 回に分けて施用する。 $126g/m^2 \times 2$ 回 = 252 g/m^2

(4) 病虫害及び雑草防除

ア 病虫害防除

①主な病虫害等

- ・ユスリカ、ヨトウムシ、アブラムシ、ヒメタニシ、ミドリガメ等
- ・上記のうち、被害があるのはユスリカ・ヨトウムシ・アブラムシであり、 特にアブラムシの発生が顕著である。

②主な防除

・アブラムシの農薬散布のみ(スポット散布:適宜、全面散布:年2~3回)





アブラムシの発生(5月中旬) アブラムシの防除

イ 雑草防除

①主な雑草等

- ・アオミドロ:4~5月に発生し水面に浮遊、池の景観を害する。
- ・コカナダモ:冬期は休眠し春先から生長する。池の北側一部で繁殖。
- ・ウキクサ:立葉が展開する頃、アオミドロと入れ替わるように発生し池全面を覆うほど繁殖。アブラムシの発生と関連があるといわれる。

②主な防除

- ・アオミドロ:水面に浮遊し景観を害する。網で除去するが完全除去は困難。
- ・コカナダモ:春先、生長が始まる頃に地上部を除去し、繁殖の拡大を抑制。
- ・ウキクサ:発生初期に網で除去するが完全除去は困難。

